“Voice Bridges Project”  
～多重構造のざるを目指して～

松本俊彦

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 薬物依存研究部 部長

薬物依存症センター センター長

2017年3月始動! 地域側からの「おせっかい」  
Voice Bridges Project

「刑の一部執行猶予制度」施行後の地域支援（熊倉, 高野, 松本, 2017）

家族支援

守秘優先

3年

2年

1年

出所

医療機関

民間リハビリ施設・自助グループ

市区町村役所（福祉サービス）

精神保健福祉センター

保護観察所

「Voice Bridges Project」2017年3月1日始動

個人情報を含まないデータ

**情報の流れ**

研究に協力した方の転居や保護観察終了時の状況

正式に研究協力した方の氏名

個人情報を含む調査データ

**ベースライン調査**：基本属性（性別、年齢、学歴、就労状況、同居者、社会保障制度の利用など）、薬物関連情報（主たる薬物、薬物使用歴、依存重症度、逮捕歴、保護観察の種類、治療歴、併存精神疾患、自殺既往など）、QOL、地域資源の利用、相談相手、困りごと

保護観察対象者

**援**

保護観察

**地域支援**



**保護観察所**

**精神保健福祉センター**

**国立精神・神経医療研究センター**

* 研究協力者への説明と依頼
* 保護観察
* 同意取得
* 初回面接調査
* 電話調査
* 相談支援
* 保護観察終了後の支援
* 研究全体の統括
* データ解析
* 研究結果の公表



**専用ウェブシステム**

**対象者アウトカム**

1. 薬物再使用
2. 就労状況
3. 地域資源の利用
4. QOL
5. 相談相手
6. 困りごと

**Feasibilityアウトカム**

1. 追跡率
2. 調査実施状況

**調査同意者と非同意者との比較**

1. **属性比較**：性別、開始時年齢、保護観察の種類、罪名
2. **転帰比較**：保護観察終了または観察中の数・割合、終了者のうち、期間満了・取消し・所在不明・身柄拘束、死亡・その他の数（割合）

Voice Bridges Project  
国内各地に「声の架け橋」を作る  
令和元年7月より17箇所の精神保健福祉センターで実施

